

倶多楽火山

○熱水の化学組成から推定された深部熱水温度の経時変化

活動開始の約半年前から上昇を始め、活動開始直後に280℃を記録した深部熱水温度は、約1ヶ月後には240℃前後に低下し、これ以降、現在まで240℃前後の温度を保持して推移している。

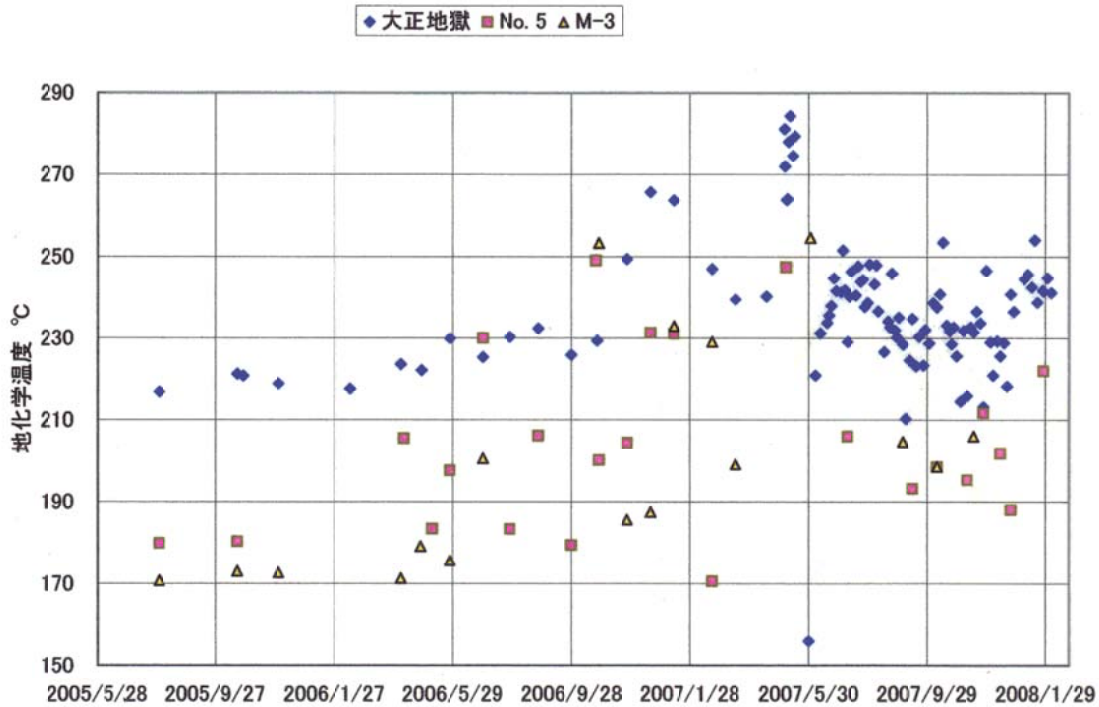


図2. 代表的な高温・高塩化物泉である大正地獄, No. 5, M-3 泉源の化学組成から推定された深部熱水温度(Na-K-Ca化学温度計)

○熱水温度と休止時間の時間変化

噴騰活動の周期には、長い休止期ののあとに再開した噴騰活動の休止時間は、時間の経過とともに短くなる傾向が認められる。

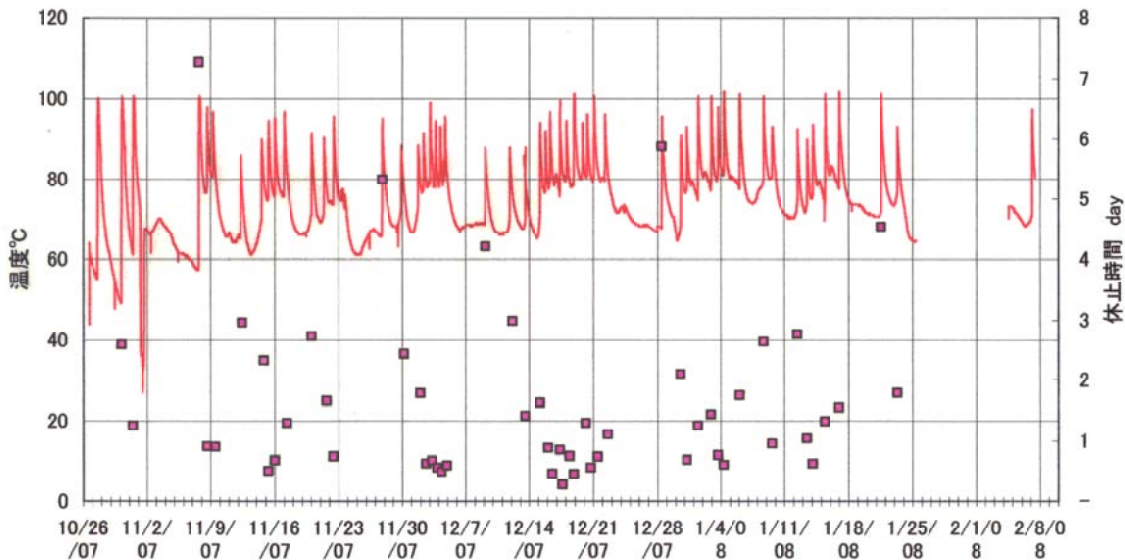


図3. 熱水温度と温度変化から求めた噴騰活動休止時間の時間変化